

日中友好新聞

おかやま

読字 原田 親

No. 606

2010/5/25

日中友好新聞

発行所 日本中国友好協会  
〒110-0055 東京都千代田区  
西船場1-1-1 東洋大学ビル

日中友好協会  
岡山支部  
〒700-8256  
岡山市東区3-8-30 511  
TEL:0861272-3010  
郵便番号1100  
01250-0-3335

日中友好協会  
倉敷支部  
〒713-0014  
倉敷市連島中央1-8-1  
(宮地方)  
TEL:FA0860446-2711

# 中国帰国者問題写真展 その1

日中友好協会岡山支部 小林軍治

日中友好協会岡山支部主催の「中国帰国者問題写真展」が四月二十七日から三十日(二十九日は休み)まで、岡山市役所一階ロビーで開催され、三〇〇人を越える人々が参観し、大成功をおさめました。

今回の展示(写真やパネル約二〇〇枚)の特徴は、次の三点です。

(一) 岡山県満蒙开拓青少年義勇軍(村中中隊が中心)の歴史と現状をはじめて展示したこと。

(二) 岡山市役所一階ロビーで開催され、三〇〇人を越える人々が参観し、大成功をおさめました。

(三) 中国帰国者の日本語教室岡山・総社とともに倉敷教室の鴨井さん、湯口さんの現状について、くわしく紹介したこと。



青少年義勇軍に参加した人々と青木先生(右から2人目)

参加者の内訳を日付順に示すと次のようになります。

二十七日は、青木先生と青少年義勇軍一関係者と日本語教室倉敷などから約八十人、二十八日は、日本語教室岡山の講師、受講生など約一三〇人、三十日は、市議、県議、国會議員など約一〇〇人です。山陽新聞社が、初日の様子を「残留孤児の現状を知って」の見出しで記事にし、かつ本社HPの動画で放映したこともあり、二八



左側の女性が宇垣さん

日、三十日と参観者が増えたと思われまふ。

参観者で、家族や親戚に旧満州関係者がいる人は、熱心に見ていました。山陽新聞の記事で「青少年義勇軍」に参加した人の戦争を二度と起こさないために、このような歴史を若い人に伝えなければ」との話しが、心に残りました。

中国残留邦人支援法が改正されて二年が経過した「いま」の中国帰国者の実情の一端を伝えることができたと思っております。今後もこの問題を風化させないためにも「写真展」は継続していきたい。

次に、二六日の展示の準備と二七日の当番を担当した宇垣さんの感想文を紹介いたします。



宇垣 元子

私は日本語教室の一員として初めてお手伝いをしました。

数の多さにも驚きましたが、一枚一枚の写真の表情が印象に残りました。と同時に、今まで係わってこられた方たちの思いを感じました。

初日は強風と雨でした。義勇軍として派遣された方の取材もありました。私は、お兄様が終戦の数日前に召集、シベリアに抑留されたという男性に話しかけられました。お母様のこと、ご自身の体験など話してくださいました。戦争の実体験のない私にとって、実に貴重なお話でした。

この写真展開催にあたり、陰で多くの方が協力してくださっていることを知り、感謝の気持ちいっぱいになりました。皆さんの深い思いを、丁寧につなげていきたいと思っております。

## 新年度も、より発展を...

### 中国帰国者の日本語教室

4月23日(金)岡山市役所の会議室で、市の担当者との話し合いを持ちました。出席者は、市からは神原さん、日本語教室からは岩間、小林、井上の3氏でした。

昨年と同じ顔ぶれだったので、すぐに本題に入り、和やかに話し合いました。確認した主な点は次のとおりです。

1. 日本語教室の改定規約、新任講師
  2. 講師料は昨年と同じ額で、申請どおり支払う(予算内で)
  3. 郊外研修等の行事も可
  4. 6周年記念行事は昨年並みの予算は可
  5. 原告団の出張旅費の工夫を検討
  6. 写真展、追加パネルにも予算をつける
  7. 写真展、4月開催の定例化を検討
  8. 中国支援・交流センター行事への参加
  9. 女性サロンへの予算付け検討
  10. 今後も必要に応じて話し合いをもつ
- 以上の諸点を確認して、話し合いを終わりました。



左から岩間、井上、神原さん

講演:

「語り継ぐ平和への想い」

～ある作家体験から～

早乙女勝元

6月12日(土)

- ① 13時～ NPO総会
- ② 14時30分～ 講演

岡山勤労者福祉センター

参加費 500円(チケットお求めください)

日中友好協会岡山支部ホームページ  
http://rizhong.web.infoseek.co.jp  
メールアドレス  
rizhong86@hotmail.co.jp



# 第80回日中文化講座

「いまの中国をどう見るかー映画・漫画を通してー」

石子順氏 講演 ⑩

この間、漫画家の徐鵬飛さんと飲む機会があったんですが、すぐ京劇をうなるんですね。

この人は文化大革命で酷い目にあっているんです。文化大革命で下放させられて、十数年酷い目にあつて、なぜ彼は耐えられたのかというと、文工団でフルートを吹いていたんだそうです。これが身を助けたっていうんです。

この人も長春なんです。私も長春だったもんですから、すつかり意気投合してしまいました。父親が旧満州国で働き、戦後は国民党に入ってしまったために、父親の身分というものがずつと尾を引いていて、彼は進学もままならないという状態だったそうです。

彼が生まれたのが1949年ですから、文化大革命の時に中学生で、地方(延辺地区という朝鮮との国境付近)にやられた

んです。そこで身を助けたのがフルートだったそうです。

もう1つの映画「四川のうた」これは一番若手の三十代の監督で、その前の映画「長江哀歌」でベネチアのグランプリを取った監督です。

この人も映画を撮るのが好きでね、何かというと映画を撮っている。よくお金があるなあと思つていたら、何と彼には日本の有力なプロダクションが出資しているんですよ、北野武の事務所が。

だから、なんであんなに映画を撮れるのかと思つたら、全部北野事務所なんです。彼がデビューした時から北野事務所が目をつけていて、第1作で評判になつて、それから「ブラットホーム」とか「青の稲妻」とか「世界」そして「長江哀歌」、そしてこの「四川のうた」です。

つづく



## 一人で悩んでいませんか？

岡山県ライフサポートセンターが中国人向けに、生活相談、労働相談を受け付けています。

受付内容:労働相談

(労働条件、賃金未払い、雇用など)

求人、無料職業紹介、交通事故など。

生活相談全般

TEL : 0800-200-3410(無料)(携帯に対応)

時間:金曜日 10:00-18:00 (相談は無料)

(弁護士による相談は一回目無料)

(但し、裁判や実務依頼されるケースの場合は、それぞれの取り決め額の支払いとします。)

場所:岡山市北区津島西坂 1-4-18

労働福祉事業会館 2階

## 第八一回岡山県中央メーデーに参加!

第八一回岡山県中央メーデーは、五月一日午前十時より、岡山市旭川河川敷相生橋東詰で開催され、約八〇〇人が参加しました。参加者は、賃金、雇用、平和、政治改革などの思いをゼッケンやプラカードにこめて、市内をデモ行進しました。

日中岡山からは、竹内理事長、小林事務局長、河井理事が日本中国友好協会この旗を持つて参加しました。新緑が目にしみ、さわやかな風をほほに受け、まさにメーデー日和に日中不再戦は、憲法9条を生かす道」の願いを胸に一歩一歩進みました。(小林)



## 中国・福建省に行ってきました。③

真田 紀子

二日目の最大のイベントは客家の土楼です。泉州から高速道路に乗り、内陸の方向へ約2時間ぐらいで永定という地域に到着します。ここまでの高速代が210元でした。そこからさらに山奥へと入っていきます。

まだ道路の整備が間に合っていないようで、道幅の狭い、すれ違うバスと出会ったらどうするかと思われる所を通過します。

車窓に村が現れて、土楼らしきものが両側に見えています。数はわかりませんが、たくさんあります。今も、もちろん人々が生活してる建物である事がわかります。

今日の昼食場所に到着です。これが、なんと工事現場の巨大なプレハブ小屋のような建物です。そこまでの道は舗装道路から、畑に土を入れたような赤土の地道を100mほど入ります。雨でも降ったらどうなるのでしょうか。

昼食はこの地域の田舎料理ということでした。食事の後、バスが故障して動けなくなり、30分ぐらい運転手が必死で修理していました。バスはディーゼルエンジンのようです。何とかエンジンが動き、10分ほどでやっと土楼に到着です。



左 永定土楼—振成楼内部 中 福建客家土楼の内部 右 福建客家土楼

次回の新聞発送作業は6月1日(火)後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

稲葉 小和  
竹内 内和  
竹内 内和  
坪井 和